

卒業制作

オノマトペずかん

親子で楽しむ、ことばと感覚のWeb図鑑

デジタルハリウッド大学

デジタルコミュニケーション学部

デジタルコンテンツ学科

Webディレクション&デザイン研究ゼミ

A22DC207

水谷桜子

概要

項目	内容
目的	一つのオノマトペから、たくさんの知識や会話が生まれるような体験を届けたい。
方法	どのような手法で制作したか（コンセプトの実現方法）
結果	何が完成したか、何が明らかになったか
結論	本制作で得られた知見や成果

-キーワード

制作内容を表す重要な専門用語や概念（3～8個程度）。

はじめに

項目	内容
制作の背景・動機	<p>日常生活において、自らが無意識にオノマトペを多用していることを他者からの指摘により自覚したことが、本制作の原点である。この経験から、「他の言葉で言い換えられないのか」「なぜその表現が生まれたのか」「他言語ではどのような表現になるのか」といったオノマトペの持つ言語的・文化的な特性への興味が深まった。さらに調査を進める中で、オノマトペが未就学児の語彙獲得において極めて重要な役割を果たしている点に着目した。身近な親子を観察した際、オノマトペが親子の自然なコミュニケーションツールとして頻繁に活用されていることを確認。この日常的な接点こそ、親子の言葉の世界を広げる最適な機会であると確信した。現代社会において共働き世帯の増加に伴い、親子で質の高い会話をする時間の確保が課題となる中で、オノマトペを共通の「遊び」のツールとして活用することで、親子のコミュニケーションを深め、言葉の豊かさや面白さを再発見する場を提供したいという動機に至った。</p>
制作の目的・コンセプト	<p>本制作の目的は、オノマトペを起点とした親子の対話と学びの深化を実現するWeb図鑑「オノマトペから広がる親子のことばの世界」を構築することである。コンセプトは「遊びながら広がる言葉の探求」。未就学児には、写真や音声を活用した直感的かつ感覚的なオノマトペの理解を促す。一方、保護者に対しては、同じオノマトペに関連する文学作品での用例、語源、文化的な背景といった深い知識を提供することで、親子の会話の引き出しを増やす。単なる情報提供に留まらず、一つのオノマトペから無限に広がる言葉の世界を親子が一緒に探求できる「学びのプラットフォーム」を提供することを目指す。</p>
先行研究・既存作品との比較	<p>オノマトペを扱った既存の図鑑やWebサイトは多数存在するが、その多くは「語彙の羅列」あるいは「専門的な言語学資料」に二極化している。特に、未就学児とその保護者というターゲットを明確に設定し、両者に対してレベルの異なる情報（感覚的な知識と深い雑学）を一つのコンテンツ内で提供し、親子間の対話を積極的に促すサービスは見当たらない。本Web図鑑は、子どもの直感的理解（写真・音声・簡単なひらがな）と、保護者の知的探求（文学作品例、語源、文化比較）を明確に分離・統合することで、既存の図鑑にはない「親子のコミュニケーション深化」という新たな価値を提供する点で独自性を有する。</p> <div>⊕ オノマトペ まとめ</div> <div>⊕ オノマトペ処方展 ITOCHU SDGs STUDIO 伊藤忠商事株式会社</div>
報告書の構成	<p>本報告書がどのような章立てになっているかを説明</p>

1. オノマトペと言語習得に関する事実（背景の補強）

● 言語習得における重要性:

- オノマトペ（特に擬音語や擬態語）は、**抽象的な概念や五感の情報を具体的に表現する**役割を持ち、未就学児が言葉と感覚を結びつける上で非常に役立つことが、発達心理学や言語学で指摘されています。
- オノマトペは、他の名詞や動詞に比べて**音のリズム**があり、子どもにとって覚えやすく、発話のきっかけになりやすいという特徴があります。

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jschildstudy/31/0/31_257/_pdf/-char/ja

言語習得を助けることについては、その後も14ヶ月児から3歳児を対象に彼らのオノマトペ表現やオノマトペ理解と合わせて調査がなされ、言語習得におけるオノマトペの役割可能性が示されている（Sima et al. 2008；Izumi, Miyazaki et al. 2005；Kamata et al. 2009；Munoz et al. 2009；Perry et al. 2017）。Liang (2014) は、オノマトペの発音が初期のアウトプットに貢献することに示唆しながらも、一旦言語習得の獲得が始まるとオノマトペによるアウトプットは減少することを指摘している。すなわち、オノマトペは言語習得、中でも初期の言語習得を助ける働きを担っているものと考えられよう。

また、この時期の幼児は養育者とのコミュニケーションのなかでもオノマトペを発していることが観察されている（Liang 2019；坂井ほか 2022）。そして養育者も彼らに対して感嘆にオノマトペを活用しており（e.g. 友定 2005）、養育者は幼児の言語学習を助けるやり方で、そして幼児とのやり取りに反響を与えるやり方でオノマトペを用いているのである（Munoz et al. 2009）。このように、幼児が発するオノマトペ及び養育者が使用するオノマトペは言語習得過程における幼児と養育者の言語的なコミュニケーション媒体として働いていることについても触れられてきている。

以上のように、言語習得過程の幼児がオノマトペを発することは、幼児が言語を獲得し利用していくうえで、そして身近な大人とのコミュニケーションを築くうえで、重要な役割を果たしていることが示されてきている。幼児が発するオノマトペに関する研究において

2. 親子の会話に関する社会的背景（動機の補強）

● 共働き世帯の増加:

- 厚生労働省の統計などで、共働き世帯の割合は年々増加しており、特に未就学児を持つ家庭では、時間的制約から親子で過ごす時間（特に学習や深い対話の時間）の「**質の確保**」が重要になっています。
- オノマトペは、短時間で感覚的な共有ができるため、忙しい親子の質の高いコミュニケーションツールになり得ます。

㊦ 図表1-1-3 共働き等世帯数の年次推移

㊦ 親子の会話時間 - 「親子のふれあい時間」調査（2025） - シチズン意識調査

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/syusseiji/05/kekka3.html>

3. 海外のオノマトペに関する事実（比較の補強）

● オノマトペの豊富さ:

- **日本語は世界的に見てもオノマトペが非常に多い言語**であることが知られており、感情や状態を細かく表現する際に多用されます。
- 海外にもオノマトペは存在しますが、表現の範囲（特に擬態語）や使用頻度において、日本語とは文化的な違いがあります。例えば、英語では動詞で表現するような状態も、日本語では「だらだら」「もこもこ」といったオノマトペで表現されることが多いです。この比較を紹介することで、「オノマトペの語源や文化」というコンテンツの重要性が高まります。

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/56957/JLCE_14_023.pdf

制作の方法・過程

制作環境・使用技術	Figma,Xmind,Canva,blender
設計・計画	制作の具体的な計画、設計図、スケッチ、ワイヤーフレームなど。
制作過程の詳細	実際に制作を進めた手順、技術的な工夫、課題への対応、試行錯誤のプロセス。

1.コンテンツの洗い出し

- 共通インターフェース・導線

項目	内容
トップページ	サイトの目的と使い方を簡潔に紹介。主要なオノマトペ数語を写真やイラストとともに配置し、図鑑への導入とする。
オノマトペ検索・索引	五十音順、カテゴリ別（動物、自然、動作、感情など）、ひらがな・カタカナ別などの検索機能。
オノマトペ個別ページ	各オノマトペの詳細情報ページ。必ず**「子ども向け」と「保護者向け」の表示切り替えボタン（または明確なエリア分け）**を設ける。

- 子ども向けコンテンツ（未就学児対象）

子どもたちが感覚的・直感的にオノマトペを理解し、楽しめるようなコンテンツを重視します。

項目	内容
オノマトペの音と視覚	「ぐしゃぐしゃ」など、オノマトペを声優やナレーターが読み上げる音声と、それに対応した鮮明な写真や動きのあるイラスト/アニメーションをセットで表示。
感覚的な理解	**「つるつる」や「ふわふわ」**など、五感に訴えるオノマトペについて、「触るとこんな感じ」「見るとこんな感じ」といった説明を、簡単な言葉（ひらがな中心）で添える。
ミッション	<p>似ているオノマトペ：「きらきら」「ぴかぴか」「てかてか」など、似ているオノマトペを並べて表示し、「どこが違うかな？」と親子の会話を促す。</p> <p>写真チャレンジ：オノマトペを表しているものを探したり表現して写真や動画におさめる</p>

- 保護者向けコンテンツ（親子の会話促進・深い学び）

親が子どもに言葉を教える際の引き出しとなり、親自身の知的好奇心を満たすためのコンテンツを重視します。

項目	内容
文学作品での用例	該当オノマトペが使用されている、子ども向け・大人向けの文学作品や詩歌の具体的な引用例を掲載。親子の読み聞かせの導入にも活用。
類義語・対義語・関連語	オノマトペを**「擬音語・擬態語」という枠を超えた語彙の世界**へ広げる。「さらさら」の類義語として「スムーズ」「流暢」などを紹介し、言葉の使い分けを解説。
語源・文化的な背景	該当オノマトペの由来（例：「がたがた」は古い日本語から）や、外国語での対応表現（例：英語で「わんわん」にあたるのは「Bow-wow」）など、親子の知的好奇心を刺激する雑学。

2. オノマトペの選定

ー基準

「親子の日常的な会話と学びを最大化する」視点から選ぶ

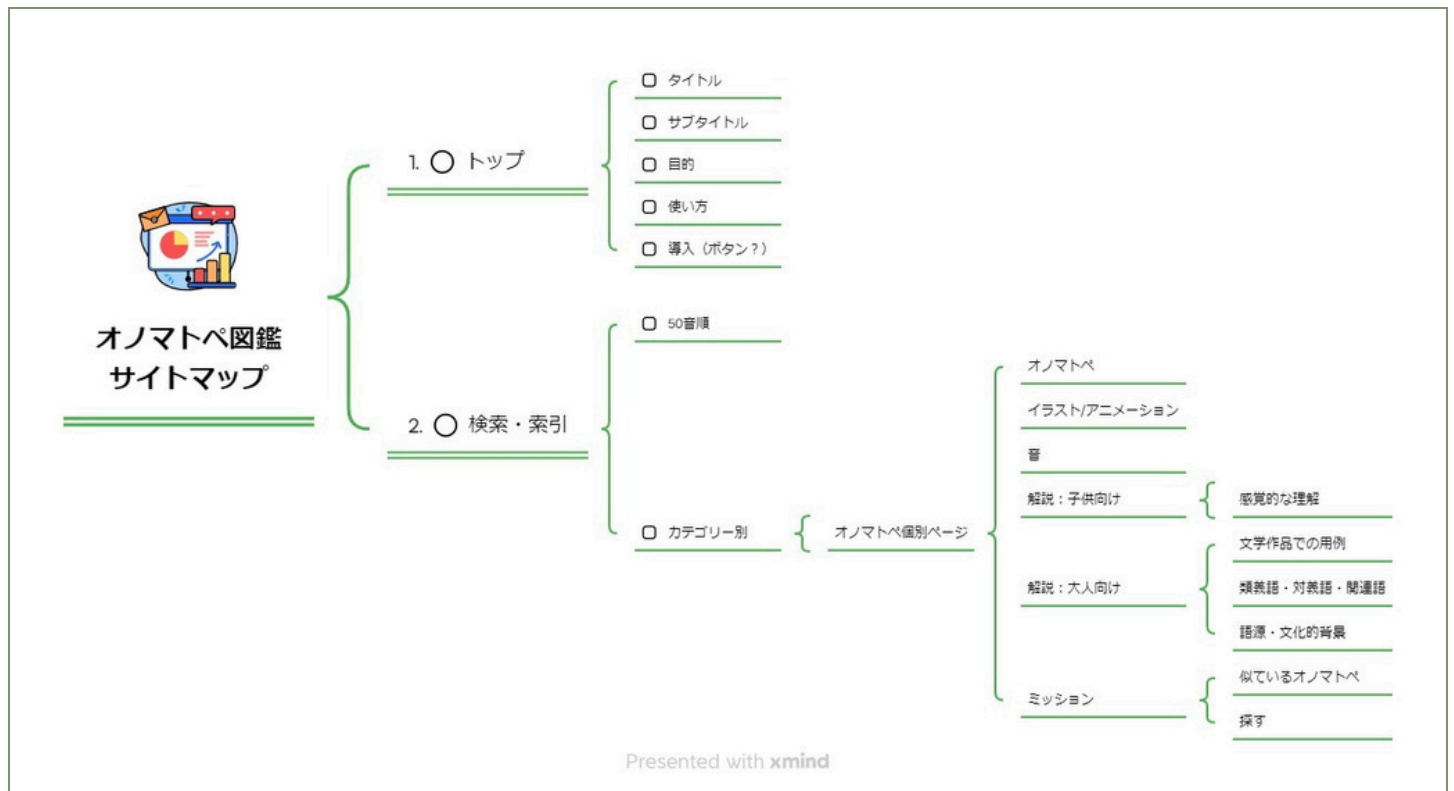
1. 「日常性・使用頻度」を重視する：親子が普段から使っていて親しみやすいこと→サイト利用
2. 「対話の広がり」を重視する：親子の対話や学びにつながる拡張性をもっていること
3. 「ウェブとの親和性」を重視する：webの特性(音声・動画・インタラクション)を活かせること

ー手順

1. 日常性や動作・感覚の観点から未就学児が頻繁に使用するであろうオノマトペをリストアップ
2. リストアップしたものを基に、「対話の広がり」を考慮し、類似のオノマトペや発展的なオノマトペを追加
3. 子供向けと親向けのコンテンツが制作できるか確認して絞る

3. サイトマップ作成

1で洗い出したものを参考にサイトマップを作成

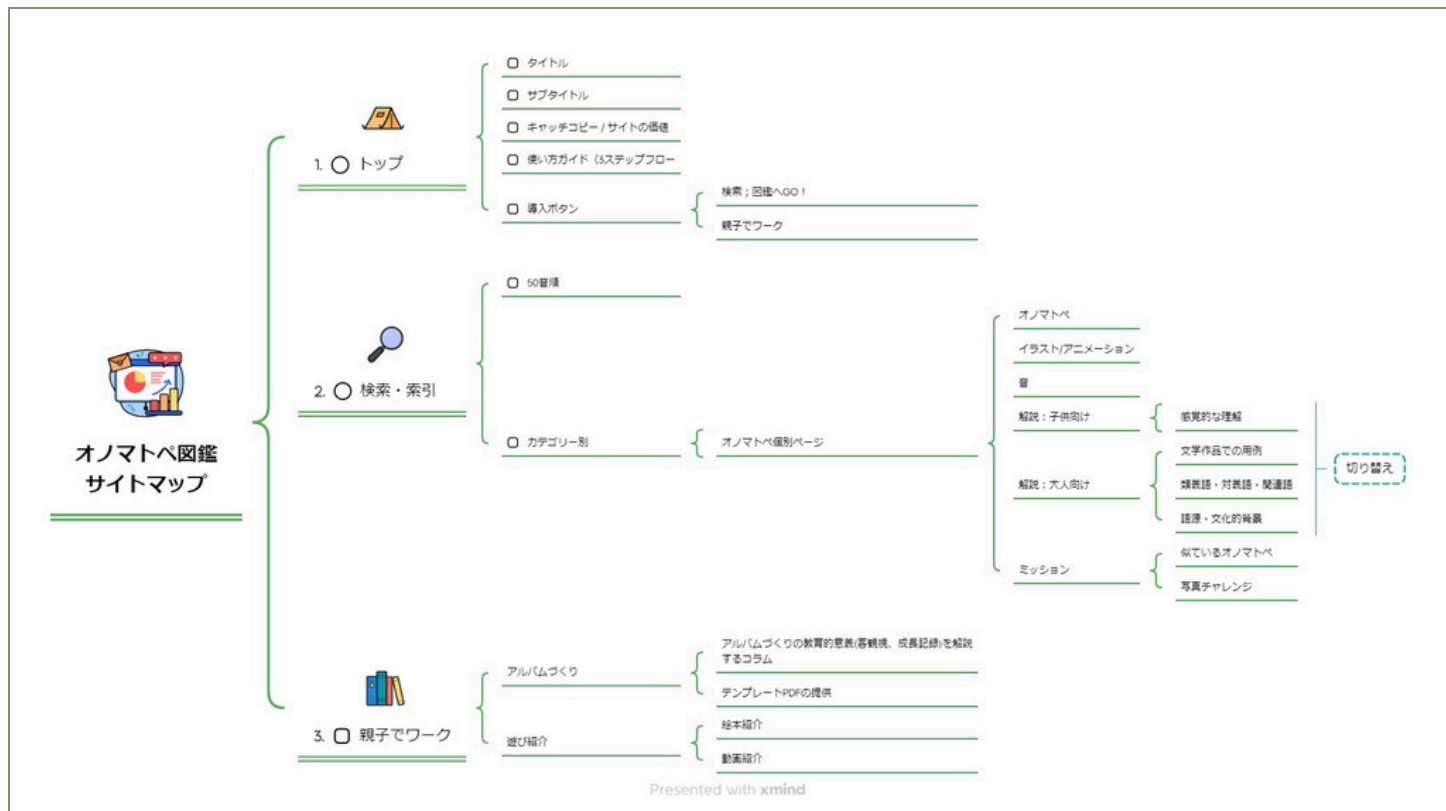


変更点

- ・「探す」→「写真チャレンジ」へ
独自性の追加、写真を撮る行為で思い出を残したり、表現の仕方を身に付けられる。
- ・「目的」→「キャッチコピー/サイトの価値」へ、
「検索；図鑑へGO!」、「親子でワーク」を追加することで具体的にわかりやすくした。
- ・「親子でワーク」コンテンツの追加

このサイトの目的である親子のコミュニケーションを促すコンテンツを追加した。また、写真を撮りアルバムを作ることで、子が「どう見られているか」を学び、アピールしたりといったことができるようになりコミュニケーションの手助けにもなる。さらに、アルバムを作ってもらった学生ほど自尊感情や自己肯定感が高いかもという調査もありそう。

⊕ 大阪教育大学准教授 小崎先生に聞く 「アルバムと子育て」の研究



4.文書作成

設計

ートップページ

[l-main]

// -----

// 1. ヒーローエリア (H1とキャッチコピー)

// -----

[p-hero-area]

#オノマトペずかん

[p-content__text] 親子で楽しむ、ことばと感覚のWeb図鑑 --size-l

// -----

// 2. サイトの説明 (Features/Introduction)

// -----

[p-features-section]

オノマトペずかんとは

[p-content__text] オノマトペずかんは、いつもの日常に潜むオノマトペの不思議を、[br]

親子で一緒に探求するWeb図鑑です。

[p-content__text] 1つのオノマトペから、たくさんの知識や会話が生まれるような体験を届けたいと考えています。

// -----

// 3. サイトの使い方

// -----

[p-usage-section]

このサイトの使い方

[p-usage-section__step-list] // 使い方をリスト表示するBlock

// ステップ1

[__item]

1, オノマトペを探す・調べる

[p-content__text] カテゴリ別から気になるオノマトペを探そう！

// ステップ2

[__item]

2, 深く学び、実践する

[p-content__text] 子供向けと大人向けの解説を読んで深く学ぼう！[br]

似ているオノマトペの違いを考えたり、ミッションにチャレンジしてみて

// ステップ3

[__item]

3, 成長を記録する

[p-content__text] アルバムをつくろう！印刷して貼って、親子で振り返ってみてね

// -----

// 4. オノマトペカード一覧 (最新/おすすめなど)

// -----

[p-onomatope-list]

おすすめのオノマトペ

// ここにはモーダルを開くc-cardが入ります

[c-card]--yellow js-modal-open (data-modal-target="modal-pokapoka")

[__text] ぽかぽか

[c-card]--blue js-modal-open (data-modal-target="modal-fuwafuwa")

[__text] ふわふわ

// ... 他のカード ...

// -----

// 5. クロージング (スクロールフェードイン対象)

// -----

[p-read-section]

// [__paragraph] は p-read-section__paragraph に変換されます

[__paragraph] js-fade-in-item

[p-content__text] 調べる、遊ぶ、[br]

そして成長を記録する。 --size-l

[__paragraph] js-fade-in-item

[p-content__text] このWeb図鑑が、[br]

あなたの親子の会話をより豊かにし、言葉の成長を支えます。 --size-l

[__paragraph] js-fade-in-item

[p-content__text] さあ、一緒にことばの冒険に出かけましょう！ --size-l

// -----

// 6. 行動喚起ボタン

// -----

[c-read-button]

[c-button] c-button--primary

オノマトペをさがす

[__icon] --arrow-right

```
// -----
```

```
// 7. グローバルナビゲーション (フッター固定)
```

```
// -----
```

```
[c-footer-nav]
```

```
  [__item] --is-active
```

```
    [__icon] --home
```

```
    [__text] トップ
```

```
  [__item]
```

```
    [__icon] --search
```

```
    [__text] さがす
```

```
  [__item]
```

```
    [__icon] --album
```

```
    [__text] アルバム
```

――覧

```
[l-main]
```

```
  // 検索ページ固有のヘッダーセクションとしてまとめる
```

```
  [p-search-header]
```

```
  // 戻るボタン (Component)
```

```
    [c-back-button]
```

```
      [__item]
```

```
        [__icon] --arrow
```

// ページタイトル (h1)

#オノマトペ

// 検索結果など、メインのコンテンツリスト (Project)

[p-onomatope-list]

// -----

// カード (モーダルオープントリガー)

// -----

[c-card]--orange js-modal-open (data-modal-target="modal-pokapoka") /*ぽかぽか*/

[__image] --pokapoka-c

// 実際にはここに「ぽかぽか」のテキストElementが必要です

// -----

// モーダルウィンドウ本体

// -----

[c-modal] #modal-pokapoka

[__overlay] js-modal-close

[__inner]

// 閉じるボタン

[__close] js-modal-close

[p-content__text] とじる

[__icon] --x

[__main-content]

[__image] --pokapoka-w

```
// -----
```

```
// タブ切り替えコンポーネント
```

```
// -----
```

```
[c-tab-switch]
```

```
  [__header]
```

```
    // 1. 解説ボタン (アクティブ)
```

```
    [__trigger]--is-active js-tab-trigger (data-tab-id="explanation")
```

```
      [p-content__text] かいせつ --size-s
```

```
    // 2. チャレンジボタン
```

```
    [__trigger] js-tab-trigger (data-tab-id="challenge")
```

```
      [p-content__text] チャレンジ --size-s
```

```
  [__body]
```

```
    // 1. 解説内容 (デフォルト表示)
```

```
    [__content] #explanation
```

```
      [p-content__text]--size-m
```

```
        あったかくてきもちがいいときにつかうよ。 [br]
```

```
        たとえば、 [br]
```

```
        おひさまがぽかぽか。 [br]
```

```
        からだやところがあたたかくなったときにもつかえるよ。
```

```
      [p-content__text]--size-s
```

```
        類語とのニュアンスの差
```

```
      [p-content__text]--size-xxs
```

****ぽかぽか****：環境がもたらす熱。日差しや部屋の空気など、包み込まれるような心地よさ。(例: ぽかぽかとした日だまり)

[p-content__text]--size-xxs

****ぽかぽか****：物体が発する熱。食べ物や湯気など、触れて熱い状態。(例: ぽかぽかのご飯)

[p-content__text]--size-s

言い換え表現

[p-content__text]--size-xxs

暖かい、血行促進、リラックス、心地よい

// 2. チャレンジ内容 (デフォルト非表示)

[__content]--is-hidden #challenge

[p-content__text]--size-m

ぽかぽかしてみよう！

[p-content__text]--size-s

ヒント:お外に出してみる、お風呂に入ってみる、おふとんにはいってみる

制作の結果（完成した作品）

項目	内容
完成作品の紹介	完成した作品そのものの詳細な説明。
成果物	作品の画像、図面、スクリーンショット、動画へのリンクなど、視覚的な資料。
検証・評価	設定した目的が達成されたか、作品に対する客観的な評価。ターゲット層からのフィードバックなど。

考察

項目	内容
制作で明らかになったこと	制作を通じて得られた新たな知見や事実、コンセプトの実現度。
反省点・課題	制作中に生じた問題点、不満の残る部分、時間や技術の限界など。
学術的・社会的意義	この制作が学問分野や社会にどのような貢献ができるか（重要）。

結論

項目	内容
結論のまとめ	序論で設定した目的に対して、最終的にどのような成果が得られたかを再確認。制作全体の総括。
今後の展望・課題	今回の反省点や課題を踏まえ、今後どのような発展が可能か、どのようなことに挑戦したいか。
謝辞	指導教員、協力者、家族などへの感謝の言葉。

付録・資料

項目	内容
参考文献・引用文献リスト	Ⓢ 保育でよく聞く「オノマトペ」とは？子どもがワクワクする表現方法や...
付録	制作中に使用したデータ、コード、アンケート結果、詳細な図面など、本文に含めきれなかった補足資料。